

New Tribune
スピーディでタイムリー。
がん臨床に役立つキュレーションメディア。 11月1日(木) OPEN
詳しくはこちら

Oncology
Tribune
専門性の高いがん情報も、中立的立場から配信

New Open!!
がん臨床に役立つ
キュレーションメディア
詳しくはこちら

Oncology
Tribune
詳しくはこちら

痛風の原因は食事よりも遺伝子

© 2018年10月18日 17:35

🗨️ 8コメント



© Getty Images ※画像はイメージです

痛風の主な原因は食事内容であるというのが一般的な認識だが、これを否定するエビデンスが示された。ニュージーランド・University of OtagoのTanya J. Major氏らは、米国の人口ベースのコホート研究5件を対象にメタ解析を行い、痛風に先立つ高尿酸血症の発症において、遺伝子が食事よりも重要な影響を及ぼすことが示されたと*BMJ*(2018; 363: k3951)に発表した。

食事の寄与は1%未満だが遺伝子の寄与は24%

解析対象は、尿酸値、遺伝子プロファイル、食事、交絡因子(性、年齢、BMI、1日のカロリー摂取量、学歴、運動量、喫煙状況)に関するデータが得られ、高尿酸血症治療薬または利尿薬の使用歴がなく、腎臓病または痛風を有さない18歳以上の欧州系米国人1万6,760例(男性8,414例、女性8,346例)。

個々の食品の摂取や食事スコアと尿酸値の変化との関連について解析した結果、7種類の食品(ビール、蒸留酒、ワイン、ジャガイモ、鶏肉、清涼飲料水、牛・豚・子羊肉)が尿酸値の上昇と関連し、8種類の食品(卵、ピーナツ、コールドシリアル、スキムミルク、チーズ、全粒粉パン、マーガリン、かんきつ類以外の果物)は尿酸値の低下と関連することが示された。しかし、個々の食品摂取で説明できる尿酸値の変化は0.06~0.99%にすぎなかった。

また、Harvard Healthy Eating Pyramidガイドラインに基づいたHealthy Eatingスコア、Dietary Approaches to Stop Hypertensionガイドラインに基づいたDASHスコア、地中海食ガイドラインに基づいた地中海食スコアの3種類の食事スコアの値が高いほど健康的な食習慣を示し、尿酸値の低下と関連する一方で、5コホートのデータを解析して求めた実際の食事パターン(不健康な食事に相当)のスコアが高いほど尿酸値の上昇に関連することが示された。しかし、食品と同様に各食事スコアで説明できる尿酸値の変化は0.3%未満にすぎなかった。

一方、遺伝子解析では尿酸値の変化の23.9%が頻度が高い一塩基多型で説明できることが示された。一塩基多型で説明できる尿酸値の変化は、男性コホートで23.8%、女性コホートで40.3%と推定された。

痛風に対する誤解や偏見の解消に期待

Major氏らは研究の限界として、食事に関する質問票が研究間で異なる点、対象が痛風を有さない欧州系米国人に限定されている点などを挙げ、「今回の結果は他地域の集団や痛風患者には当てはまらない可能性がある」と指摘。その上で「われわれのデータは、

高尿酸血症に対する遺伝子変異の寄与が食事に比べてはるかに大きいことを初めて示し、高尿酸血症の主な原因は食事であるという一般的な認識に異議を唱えるものだ」と結論している。

英・Keele UniversityのLorraine Watson氏とEdward Roddy氏は同誌の付随論評(2018: 363: k4140)で「痛風患者は自らの不健康な生活習慣によって発症したと誤解しているケースが多く、後ろめたさから医療援助を受けようとしない場合もある」と指摘。「Major氏らの研究は、このような有害だが定着している認識や行動に対抗し、高尿酸血症および痛風の素因の大部分は自分では修正不能であるという重要なエビデンスを提供している。患者数が多く容易に治療可能な疾患であるにもかかわらず負荷軽減を阻む深刻な痛風に対処する機会を与えるものだ」と述べている。

(太田敦子)

関連タグ

◆一般内科 ◆糖尿病・内分泌疾患 ◆公衆衛生 ◆痛風・高尿酸血症 ◆遺伝・遺伝子 ◆食事・栄養